

ハスモンヨトウ情報第1号 (ダイズ)

平成30年8月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

ほ場での発生動向に注意し、白変葉や幼虫を確認したら防除しましょう！

1 発生状況

フェロモントラップによる本種の誘殺数は、長久手市、西尾市、弥富市（図）、豊田市の誘殺数はほぼ平年並、安城市（図）の誘殺数は平年よりやや少ない状況です。

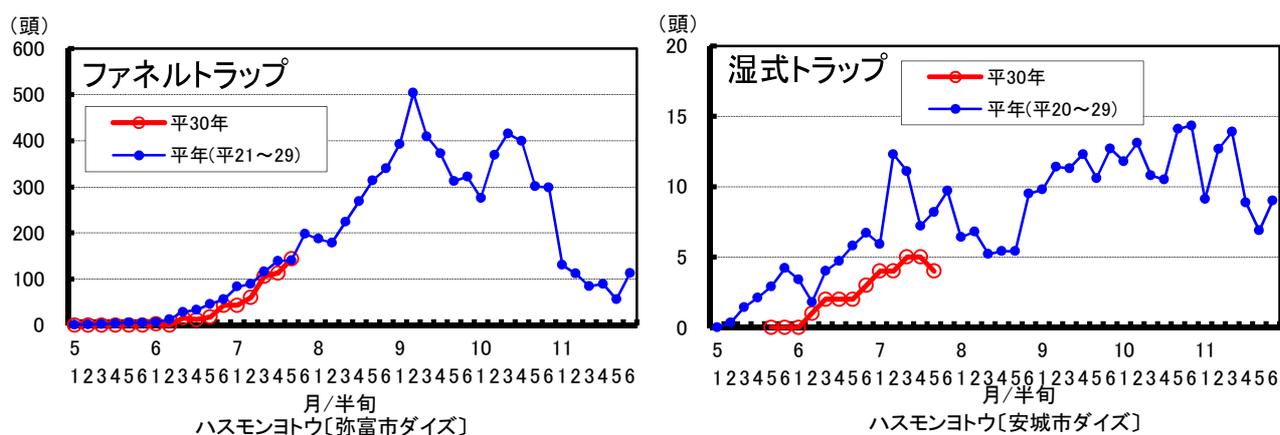


図 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺状況

2 今後の見込み

8月2日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、8月の気温は高いと見込まれています。本種の発生に好適な条件が予想され、**今後、発生量が急増する可能性があります。**

ほ場での発生動向に注意し、白変葉や幼虫を確認したら、表を参考に防除しましょう。

表 ダイズのハスモンヨトウに対する主な防除薬剤

農薬名	使用時期	使用回数	IRAC コード
トレボン乳剤	収穫 14 日前まで	2 回以内	3 (A)
ノーモルト乳剤	収穫 14 日前まで	2 回以内	15
カスケード乳剤	収穫 7 日前まで	2 回以内	15
トルネードフロアブル	収穫 7 日前まで	2 回以内	22A
プレオフロアブル	収穫 7 日前まで	2 回以内	UN
プレバソンフロアブル 5	収穫 7 日前まで	2 回以内	28
ペガサスフロアブル	収穫 7 日前まで	3 回以内	28
マトリックフロアブル	収穫前日まで	3 回以内	18

IRAC コードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRAC コードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/lab0/pdf/2017/mechanism_irac02.pdf を参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、

他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。